



今シーズン初のインフルエンザによる休校の発生について

呉市内において、令和7年11月5日、インフルエンザによる休校の報告がありましたので次のとおり情報提供いたします。

今後本格的な流行を迎えることが予想されることから、呉市では、市民に対し、手洗いの励行など予防方法等について呼びかけていきます。

1 事例の概要

- (1) 施設種類等：高等教育機関
- (2) 措置の概要：休校11月6日，7日
- (3) 患者数等：在籍者916人中122名
- (4) 主な症状：発熱，倦怠感，咽頭痛，咳等（体調不良者も含む）

2 市民のみなさまへ

インフルエンザ予防のため、次のことに気を付けましょう。

- ・ 外から帰ったときだけでなく、こまめに、流水と石けんで“手洗い”を励行しましょう。
- ・ 睡眠をしっかりととり、偏食せず、バランスの取れた食事を心がけ、体力をつけましょう。
- ・ 咳エチケット（※）を守りましょう。
- ・ 室内は、加湿器などを使って、適度な湿度（50%～60%）を保ちましょう。
- ・ 人が集まる場所への不必要な外出は避け、出かけるときは、不織布製マスクを着用しましょう。
- ・ 発熱や咳などの症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
特に基礎疾患（腎臓疾患，心臓疾患，呼吸器疾患等）をお持ちの方や，妊婦，高齢者，乳幼児は，合併症を起こしたり，重症化する恐れがありますので注意しましょう。
- ・ 特に，重症化する恐れのある方で，予防接種をまだ受けられていない場合，早めに受けましょう。（インフルエンザにかかりにくくなり，かかっても症状が重くなることを防ぐ効果があります。）

※「咳エチケット」とは

- 咳・くしゃみがでたら，他の人にうつさないためにマスクを着用する。
マスクがない場合は，ハンカチやティッシュなどで口と鼻を覆い，周りの人から顔をそむけて1m以上離れる。
- 鼻汁・痰などを含むティッシュなどは，すぐに蓋付きのゴミ箱に捨てる。